

# JIS

## 選炭廃水試験方法

JIS M 0201-1974

(2002 確認)

平成 18 年 2 月 20 日付け追補 1 あり

昭和 49 年 5 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

鉱山部会 選炭廃水試験方法専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	今泉常正	東京大学工学部
	岩崎潤二	工業技術院公害資源研究所
	植松喜稔	工業技術院東京工業試験所
	梅崎芳美	工業技術院公害資源研究所
	太田耕二	環境庁水質保全局
	佐谷戸安好	厚生省国立衛生試験所
	沢田保夫	農林省東海区水産研究所
	並木博	横浜国立大学教育学部
	原木雄介	通商産業省公害保安局
	福原元一	通商産業省鉱山石炭局
	伏見弘	早稲田大学理工学部
	鎌田宏	財団法人石炭技術研究所
	白井隆	社団法人日本石炭協会
	服部信之	北海道炭礦汽船株式会社
	三浦正勝	三井鉱山株式会社
(事務局)	石井清次	工業技術院標準部材料規格課
	細井敏明	工業技術院標準部材料規格課

主務大臣：通商産業大臣 制定：昭和42.11.1 改正：昭和49.5.1 確認：平成5.2.1

官報公示：平成5.2.19

原案作成協力者：日本石炭協会

審議部会：日本工業標準調査会 鉱山部会（部会長 今泉 常正）

審議専門委員会：選炭廃水試験方法専門委員会（委員長 今泉 常正）

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）へ連絡してください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

## 目 次

	ページ
1. 適用範囲	1
2. 一般事項	1
3. 流量測定	2
4. 温度	13
5. 比重	13
6. 透視度	13
7. pH	15
8. 蒸発残留物	16
9. 懸濁物質	17
10. ふるい分け試験	23
11. 沈降性物質	24
12. 沈降試験	24
13. 酸素消費量	26
解 説	27

# 白 紙

## 選炭廃水試験方法

M 0201-1974

(1993 確認)

## Testing Method for Effluents from Coal Preparation Plant

1. 適用範囲 この規格は、石炭鉱山から排出される選炭廃水の流量測定及び性状試験について規定する。

備考 選炭廃水には、坑水及び捨石集積場からの流出水も含む。

## 2. 一般事項

2.1 試薬、ろ紙及び器具 JIS K 0050 (化学分析通則)による。

2.2 試料 この試験方法でいう試料とは、各種の試験を行うために採取した水を指し、検水とは個々の試験を行うにあたり試料から分取した水を指す。検水及び試料は、原水の性質を代表するものでなければならない。

試料は、あらかじめ清浄にした後原水でよく洗浄した試料容器に入れ、ほとんど満水し、密せんにして試験室又は試験現場に運び、各試験はこの試料から適当な量の検水を分取し、速やかに試験する。

2.2.1 試料の採取 選炭廃水は、選炭工場の操業状況の変化、選炭系統中の各機種の状態、使用水量の変化などに影響されて刻々その性状が変化する。したがって、試料の採取は試験の目的を十分に理解し、試験目的と完全に一致するような原水を試料として採取するようにする。試料採取の方法は、それぞれの状況に応じて原水の性質を最もよく代表するように、必要ならば流れの方向、形状を変えて(流れに落差をつけるなど)、また数回にわたって試料を採取する。

試験目的によって試料採取の場所、時刻、方法なども違ったものになることもあるから、試料採取の条件、場所、期日、時刻、方法及び選炭工場の運転状況なども明記しておく。

2.2.2 試料採取量 試料の採取量は、下記のとおりとする。

ふるい分析 10 l 以上

沈降試験 10 l 以上

その他の試験 2 l 以上

2.2.3 試料容器 試料容器は、ポリエチレンびん又はガラスびんを使用する。

試料容器は試料の汚染、汚濁物の混入などを防ぐため、汚染、汚濁を生じないもので密せりする。

試料容器は、あらかじめ十分に清浄しておいたものを原水で5回以上洗浄して使用する。

引用規格: JIS B 8302 ポンプ揚水量測定方法

JIS C 1601 指示熱電温度計

JIS C 1602 熱電対

JIS K 0050 化学分析通則

JIS K 0102 工場排水試験方法

JIS M 8810 石炭類及びコークス類についてのサンプリング、分析並びに測定方法の通則

JIS M 8811 石炭類及びコークス類のサンプリング方法並びに全水分・湿分測定方法

JIS R 1306 化学分析用磁器燃焼ボート

JIS R 1401 熱電対用非金属保護管

JIS R 3503 化学分析用ガラス器具

JIS Z 8401 数値の丸め方

JIS Z 8704 温度の電氣的測定方法

JIS Z 8801 標準ふるい

JIS Z 8802 pH 測定方法